



子どもの個性を伸長するための「自由」と「規律」

栗東市教育委員会 教育長 今井 義尚

ある学校の授業参観で、印象的な場面に出会いました。担任の先生が子どもを指名して黒板に進ませた際、近くの男子がその子どもに何事か言葉をかけました。その内容は聞き取れませんでした。不適切な言動だったのでしょうか。先生は即座にその男子に向かい、「それはいうことではないでしょう!」と注意しました。その男子はたちまち態度を改め、指名された子どもは堂々と黒板に向かいました。この先生の対応は、子どもへの配慮と規律の維持の両方を見事に両立させたものだと感じました。

現在の教育の現場では子どものよいところを見つけて褒め、個性を伸ばすことが重要視されています。確かにこのことは、子どもの自己肯定感や自尊感情を高めることにつながり、健やかな成長に欠かせないことです。しかし、同時に規律を守ることや自分の行動を律することを学ばないと、子どもの「自分さえよければよい」という考えや他者への配慮を欠く態度を助長してしまうのではないかと懸念も抱きます。このようなことを考えると、「個性を大切にすること」と「規律を守ること」のバランスがいかに重要であるかを考えさせられます。

大学院時代の社会学の授業で紹介された、英文学者池田潔氏の著書『自由と規律』では、「自由」と「規律」は対立するものではなく、互いを支え合う不可分の関係であると指摘されていました。池田氏は「真の自由」とは「自分自身を律する力」を持つことで初めて得られるものであり、「規律」は「自由」を束縛するものではなく、むしろ自由を成立させる条件だ

と論じています。

自由に行動することは子どもの個性を伸ばす上で大切であることは間違いありません。しかし、自由奔放に振る舞うだけでは、本当に自分らしい生き方を見つけることは難しいのではないのでしょうか。

例えば、制服のある学校で、「遠足時には自由な服装で参加してもよい」との指示が出されたところ、ほとんどの生徒が似通った服装を選んだという話を聞いたことがあります。これは、何でも好きにできる状況において、かえって周囲に合わせようとする心理が働いてしまう例のひとつです。一方で、立ち方や座り方、食事の仕方に至るまで厳しい規律が求められる禅僧たちの間には、非常に個性的な人物が多いと言われています。この事実は、「規律」という枠組みがあるからこそ、自己と向き合い、表面的な個性ではなく内面における本当の自分を発見できる可能性があることを示唆しているのではないかと思います。

規律がない集団では、他者を思いやる心が育たず、いじめや人権を侵害するような問題が発生しやすくなるとも言われます。規律は単なる制約ではなく、他者を尊重し、自分自身を律する力を培うために欠かせないものです。そしてその上にこそ、「真の自由」や「本当の個性」が育まれるのではないのでしょうか。

社会で起こる様々な事件に触れるとき、私たち教育に携わる者は、子どもの個性の伸長を念頭に置きつつ、他者を思いやる心や規律を守る力を育む感性を常に磨き続けなければならないと感じる昨今です。

【令和8年度 栗東市立教育研究所 運営概要図】

栗東市 教育方針

心豊かで、しなやかな強さをもつ人を育てる
～レジリエンスを高める栗東の教育～

教育研究所

基本方針

栗東市教育方針に沿って、教育の今日的な課題の究明
及び解決に努め、栗東市教育の振興・充実に資する。

研究事業

調査研究

「RAAR サイクルの視点を踏まえた学習による確かな学力の育成Ⅱ」

～マイプランシートを用いた指導改善と多層指導モデル MIM を取り入れた学びの積み重ねを通して～

【2年次の取組】

I マイプランシート

- ・教員の資質向上のため
のめあてと振り返り
- ・OJTを通じた同僚性の構築

II 多層指導モデル MIM

- ・個別最適な学びによる
知識・技能の定着

研修事業

教職員研修講座

就学前教育、小・中学校教育、一般教育、生徒指導・教育相談、特別支援教育等に関する内容

教育研究奨励事業

保育者・教職員の自発的な教育研究活動の促進。研究の進め方等に関する指導

就学前保育教育内容研修事業

信頼される園づくりのために、保育倫理の確立、保育の計画性、実践力等の専門性の向上

渉外・啓発

渉外

- 関係機関との連携
- ・滋賀県内教育研究所協議会
- ・滋賀県総合教育センター

啓発

- ・「教育研究所だより」の発行とホームページへの掲載
- ・教育研究奨励論文集の収録とホームページへの掲載

今日的課題の
究明・解決

指導力を
高める

関係機関との
連携

第24回 栗東市教育研究発表大会

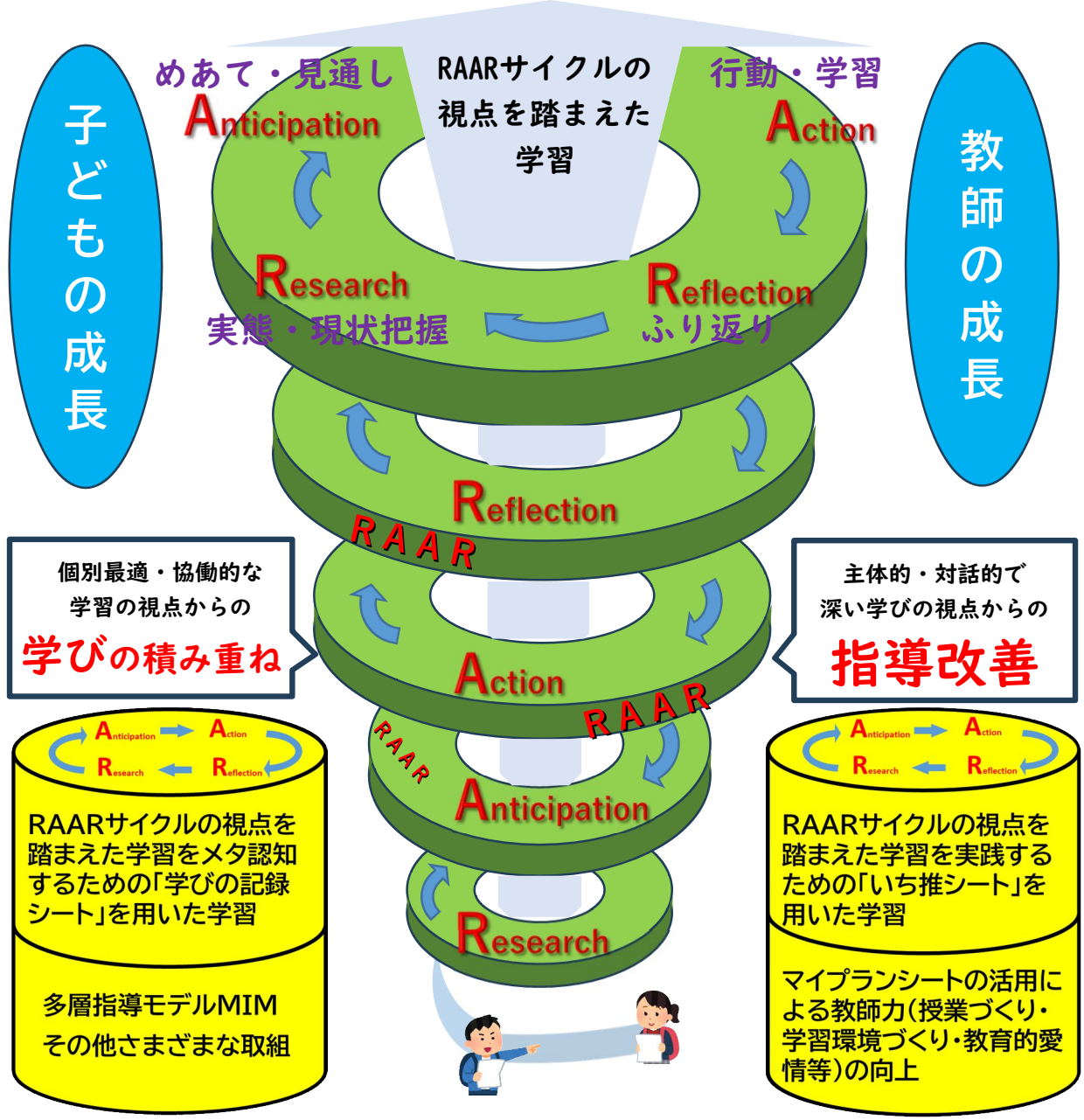
研究奨励事業結果発表及び表彰・研究論文発表・調査研究発表・教育講演会

保育者・教職員の資質向上をめざします

【令和8年度 栗東市立教育研究所 調査研究の概要図】

『RAARサイクルの視点を踏まえた学習による確かな学力の育成』（2年次）
 ～マイプランシートを用いた指導改善と多層指導モデルMIMを取り入れた学びの積み重ねを通して～

確かな学力の育成



本市の子どもたちの現状・研究の背景

- 栗東市基本目標である「心豊かでしなやかに生きる人の育成 ～レジリエンスを高める栗東の教育～」に基づき、引き続き研究に取り組む。
- 令和7年度は本市の全国学力学習状況調査の正答率において、滋賀県平均を上回った教科もあるが、滋賀県平均・全国平均に満たなかった教科の方が多い。
- 昨年度の調査研究の成果より、「RAARサイクルの視点を踏まえた学習が確かな学力の育成につながることは実証済みであるが、課題を踏まえて、学びの積み重ねと指導改善の土台にあたる条件に焦点を当てることで、子どもたちのさらなる確かな学力の育成を図る。

教育研究所 運営委員の紹介

市内の園長会、校長会、主任会、教務主任会の各代表の先生方に運営委員をお願いし、教育研究所の運営を展開していきます。運営委員の先生方をご紹介します。

園長会代表	金勝第2保育園	園長	稲富千晶
校長会代表	治田東小学校	校長	横井久美香
主任会代表	金勝こども園	主任	宮代真貴子
教務主任会代表	金勝小学校	教諭	片山篤行
教務主任会代表	葉山東小学校	主幹教諭	川妻愛理
教務主任会代表	栗東西中学校	教諭	木村匠

教育研究所 所員の紹介！

- ◆今年度も、「夏期研修講座」や「教育研究奨励事業」を積極的に進めていきたいと思えます。教育研究所の研修講座等にふるってご参加ください。
- ◆保育・教育に役立つ講座等が提供できるように研究所運営を推進していきます。

教育研究所 所員の紹介

所長	田中弘樹	参事	澤居則晶
副所長	小幡庫士		
研修・研究係長	森 聡	研修・研究係長	辻 顕史
研修・研究係長	森 耕平	研修主事	尾納 崇弘
研修主事	井上 裕司	研修主事	中村 百合
研修主事	秋山 直哉	研修主事	國重 奈緒
研修主事	安東 麻衣	研究員	脇坂 浩之
学務係	大久保 諭	吉川しのぶ	向 勇人 市川 寛己

〒520-3088 栗東市安養寺一丁目 13-33
栗東市教育委員会事務局内
TEL 077-551-0130 ・ FAX 077-551-0149
E-mail kenkyusho@city.ritto.lg.jp